

令和4年度

# 幼稚園だより 11月号



文京区立千駄木幼稚園

## 運動会 その後の活動

副園長 西郡 千晴

今年度の運動会が無事に終わりました。私はいつもその後の活動を楽しみにしています。幼稚園の行事は、本番までの向かい方がとても大事ですし、当然本番の意味は大きくあると思います。そして、その後の日々には当日を超える程の意味があるのかもしれないと思う時があります。例えば運動会当日の終了後、職員室では興奮冷めやらぬ中で本番を振り返るとともに、振休明けにはどんな保育を展開していこうかという話になります。リズムで使用した音源を他学年と交換し合ったり、リズムや競技で使用した物を互いに使えるようにしておくなど、教師は様々な思いをもって環境の準備をしています。今年は、“ミニ運動会”という形で再現されました。そこでは様々な姿があります。楽しかった自分たちのリズムを再現する楽しさ、他学年の踊りを真似っこしながら踊る楽しさ、幼稚園中の子どもたちみんなで「運動会楽しかったね」という共通の思いをもって集う楽しさなど、それぞれが楽しんでいることを教師も一緒に楽しみながら子どもたちに寄り添います。みんなでやり遂げた満足感、達成感などがじわじわと身に沁み込んでくるようです。

これらを存分に味わうためにはご家族にたくさん褒めてもらえたことが基盤になっています。行事の度にひとまわり大きくなるように感じられるのは、このようにたくさんの要素がギュッと詰まっているからかもしれません。

「体を動かすって楽しい」そんな気持ちが盛り上がる時期を逃さず、楽しい経験ができるようにしています。  
その後 ならではの活動です。



ミニ運動会（みんなで年中リズム・ムシキングサンバ♪）



運動会にはなかった競技も…。(年長・タイヤ引き)



(年中・玉入れ)



(年少・障害物チャレンジ)